学校番号	３０５

令和三年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合 （芸能文化科）	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	「国語総合」（東京書籍）						
副教材等	「基礎現代文　大学入学共通テスト対策新装版１＋」（尚文出版株式会社） 「これからの国語シリーズ　漢字検定５～２級＋短文書写　実践文字力　トリプルチェック」（尚文出版株式会社） 「新総合　図説国語　新訂版」（東京書籍株式会社） 「三訂版　正しく読み･解くための 力をつける古典 ステップ１」（数研出版株式会社） 「古文を学ぶすべての高校生のために 新精選古典文法 改訂版」（東京書籍株式会社） 「基本事項の確認と定着　新精選古典文法　準拠ノート」（東京書籍株式会社） 「新版　理解を深める　核心古文単語３５１」（尚文出版株式会社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１、（現代文）普段から関心や疑問を持って読書活動をすること。授業中は、学習活動に集中し、ペアワークやグループワークに積極的に参加し、提示された内容について深く考え、自分の言葉で説明する努力をする。
（古典）古典文法、古語、古典常識を理解し、文章読解を進めるために、日々の復習を積み重ねること。また、授業に集中し積極的に取り組むこと。
２、課題テスト・定期考査は返却後よく点検し、間違えた問題は、再点検しておくこと。
３、詳細は、各担当者の指示に従うこと。

２　学習の到達目標

国語を適切に表現し、的確に理解する能力を養成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現により文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検 （ノート、ワークシート等）	・行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	・記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	・記述の確認及び分析 （ワークシート） ・定期考査	・行動の観察 ・記述の確認 （ノート、ワークシート） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

〈現代文〉

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期中間考査まで	評論	「水の東西」 「客観的と抽象的」	○	○		◎		a:西洋と日本の文化の違いについて関心を持って読む。 b:日本文化について考えたことをわかりやすく説明する。 d:それぞれの文化の特徴を理解し、対比構造を読み取る。	a:行動の観察(発言及び記述の点検) b:行動の観察(発表等) d:記述の確認及び定期考査
7月考査まで	小説	「羅生門」	○	○	◎	○	○	a:小説の世界に疑問や関心を持つ。 b:主題について、自分なりに根拠を示して発表する。 c:登場人物の行動について心理を読み取り表現する。 d:場面や心情の変化を表現に即して読み味わう。 e:「羅生門」について基本的な情報を得る。	a:行動の観察(発言及び記述の点検) b:行動の観察(発表等) c:記述の確認(ワークシート等) d:記述の確認及び定期考査 e:記述の確認及び定期考査
前期期末考査まで	随想	「少女たちの『ひろしま』」	○	◎	○	○		a:終戦記念日の近い時期に、戦争について、自分なりに思いをめぐらせる。 b:読了後、戦争に関する考え方で変化したことを、まとめることができる。 c：戦時下の少女たちと筆者をつなぐ「回路」について、自分が考えたことをまとめる。 d:本文を読み、石内都の写真集の内容をとらえる。	a:行動の観察(発言及び記述の点検) b:行動の観察(発表等) c:記述の確認(ワークシート等) d:記述の確認及び定期考査

	評論	「〈顔〉という現象」	○		○	◎	○	a:筆者の述べる〈顔〉の意味に興味を持って読む。 c:筆者の主張をもとに、自分の意見を書く。 d:具体例から〈顔〉についての筆者の見解や問題提起を理解する。 e:「顔」にまつわる慣用句などを理解する。	a:行動の観察(発言及び記述の点検) c:記述の確認(ワークシート等) d:記述の確認及び定期考査 e:記述の確認及び定期考査
後期中間考査まで	評論	「生物の多様性とは何か」	○	○		◎	○	a:専門的な語句に関心を持って読む。 b:生物多様性について発展的な意見を交換する。 d:生物多様性と「動的平衡」の関係を理解する。 e:専門的な語句の知識を身につける。	a:行動の観察(発言及び記述の点検) b:行動の観察(発表等) d:記述の確認及び定期考査 e:記述の確認及び定期考査
	詩歌	「I was born」 「自分の感受性くらい」 「十五の心―短歌抄」	◎	○	○	○	○	a:詩歌に親しむ。 b:音読、朗読をし、詩歌のもつ音としての魅力を体感する。 c:自分で詩歌を作る。 d:作品にうたわれている情景や心情を表現に即して読み味わう。また、「I was born」では、アイデンティティの確立について興味を持つ。 e：詩歌の修辞を身につけ、ことばと表現についての知識を深める。	a:行動の観察(発言及び記述の点検) b:行動の観察(発表等) c:記述の確認(ワークシート等) d:記述の確認及び定期考査 e:記述の確認及び定期考査

後期期末考査まで	小説	「富嶽百景」	○		○	◎		a:内容に興味を持って読む。 c:主題について自分の意見をまとめる。 d:「私」の「富士」に対する評価の変化と、その心情の変化を読みとる。	a:行動の観察(発言及び記述の点検) c:記述の確認(ワークシート等) d:記述の確認及び定期考査

〈古典〉

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期中間考査まで	古文入門	『今昔物語集』 「検非違使忠明」	○			◎	◎	a:古文学習に興味を持ち意欲的に取り組む。 d:登場する人物像について理解し、行動や場面の描写を読み取る。 e:歴史的仮名遣い、用言の活用を理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	随筆	『徒然草』 「ある人、弓射ることを習ふに」	○			◎	◎	a:作者の考え方を理解し、随筆文学のおもしろさを味わう。 d:助動詞に注意しながら正しく話の内容を把握する。 e:文や文章の組み立て、語句の意味や用法を正しく理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
7月考査まで	物語	『伊勢物語』 「東下り」	○			◎	◎	a:歌物語という分野に関心を持ち、意欲的に取り組む。 d:場面ごとの内容を理解し、全体の流れを把握する。また登場人物の心情を和歌から読み取る。 e:和歌の修辞を正しく理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

前期期末考査まで	漢文入門	訓読の基本 ・訓読 ・格言	○			◎	◎	a:中学校で学習した漢文について関心を示し、意欲的に取り組む。 d:基本的な構造に慣れ、訓読の性質を正しく理解する。 e：再読文字を含む漢文を正確に読み、書き下し、現代語訳する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	漢文入門	故事成語 「推敲」	○			◎	◎	a:故事成語に興味を持ち、日本語における故事成語の役割を理解する。 d:平易な漢文を繰り返し音読し、内容を理解する。 e：訓点に従って正確に読み、書き下しする。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	日記	『土佐日記』 「馬のはなむけ」	○			◎	◎	a:日記文学の先駆としてのこの作品の概略を、興味を持って読む。 d:本文に即して、当時の人々の旅の様子を読み取る。 e:特徴的な表現を把握し、作品の特色を正しく理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
後期中間考査まで	物語	『竹取物語』 「天の羽衣」	○			◎	◎	ａ：昔話としてなじみのある作品に興味を持って読む。 d:登場する人物像や対話を的確に読み取る。 e:敬語の基本を正しく理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	和歌	「万葉集」 「古今和歌集」 「新古今和歌集」	○			◎	◎	a:それぞれの作品の文学史上の位置に関心を持ち、和歌の学習に興味を持って取り組む。 d:歌の意味やそれに詠み込められた心情を理解する。またそれぞれ三作品の違いについて考え、内容や表現の仕方を評価する。 e：和歌の修辞技巧を正しく理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

後期期末考査まで	軍記物語	『平家物語』 「木曾の最期」	○			◎	◎	a:朗読を通して文体を味わい、また内容を踏まえて人間の生き方に対する考えを深める。 d:源平の戦いの歴史的な流れを理解し、死に直面した人間のありさまを読み取る。 e:軍記物語独特の描写を正しく理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	唐代の詩文	「春暁」	○			◎	◎	a:日本でも愛好されてきた漢詩の名作に関心を持って味わう。 d:詩にうたわれた状況・心情を理解し、またそこに見られる人間観についても理解する。 e:近体詩のきまりの基本を理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力　　d:読む能力　　e：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。